

平成 20 年度 第2回
産業界から見た土木高等教育のあり方に関する検討小委員会
議事録

日 時：平成 20 年 7 月 22 日（火） 15：00～17：00

場 所：土木学会 D会議室

出席者（敬称略）

：村田、井上、関根、池田、正本、上野、尾高、室井、東、河野
（欠席：吉川、吉原）

- 議 題
1. 議事録の確認
 2. 親委員会への経過報告（今後の検討の方向性など）
 3. キャリアパスの提示例
 4. その他
 - ・論文小委員会への派遣 他

- 配布資料
- 資料 2-1 前回議事録（H20 第 2 回）
 - 資料 2-2 産業小委員会の検討（教育界への提言について）
 - 資料 2-3 キャリアパスの提示例
 - 資料 2-4 論文小委員会からの依頼

議事概要

1. 前回議事録の確認
 - ・前回議事録を村田委員長が説明。
 - ・修正等ある場合は、一週間程度以内に正本氏に連絡すること。
2. 親委員会への経過報告
 - ・資料 2-2 に基づいて、村田委員長より親委員会への経過報告案を説明。
 - ・当小委員会のミッションは以下の 2 つである。
 - ① 土木高等教育の学生を対象として、土木技術者のキャリアパスを提示する。
 - ② 土木技術者のキャリアパス及び産業界における社員教育・人材育成に基づいて、産業界から教育界への提言（提案）を行う。
 - ・本小委員会に公益事業者の委員がいないため、東電、J R 東日本に別途キャリアパスの作成を依頼する。
 - ・同様に、地方・中小建設業、地方・中小コンサルタント、市町村等のキャリアパスについても別途考えるべきである。

3. キャリアパスの提示例

- ・ 正本委員より、資料 2-3-1 に基づいて、「キャリアパス」及び「求められる技術者像」の提示案を説明。
- ・ 河野委員より、資料 2-3-2 に基づいて、鹿島建設のキャリアパスと社員教育について説明。
- ・ 池田委員より、資料 2-3-3 に基づいて、国土交通省のキャリアパスについて説明。
- ・ キャリアパス等資料の作成について以下のとおり合意した。
会社特有の役職名等を一般的に分かる表現に改める。
ゼネコンのキャリアパスの一事例として、鹿島のキャリアパスを井上委員形式で作成する。
コンサルタントのキャリアパスを井上委員形式で作成する。
キャリア、ノンキャリアを包含し、人員構成も表現したキャリアパスを井上委員形式で作成する。
東京都のキャリアパスについても、同様に井上委員形式で作成する。
- ・ 作成資料は、8月5日（火）までに、村田委員長または正本委員に提出する。
- ・ 8月18日の親委員会では、これら提出資料に基づき報告する。

4. その他

- ・ 村田委員長より、提示した教育界への提言取りまとめ案中、「2.高度成長経済期～バブル崩壊を経た現状の教育 —— (2)企業教育の概要」の部分を各委員にまとめてもらいたい旨、要請があった。（最終ターゲットは来年6月頃）
- ・ 論文編集委員会より要請のあった委員2名の推薦については、下記2名を推薦することとなった。
 - ① 和作幹雄 (株)建設技術研究所 管理本部人材開発室長
 - ② 岡田恵夫 (株)フジタ 東京支店土木部長
- ・ 次回小委員会 9月19日（金）15:00～

以 上